



（一面よりつづく）  
先に對しては勿論、當年の一般民衆の子孫たる現代の人々に對して大に感謝して、報恩反始の舉に出づるの當然であり義務であると思ふ。然らば其方法は何。之を簡明直截に云へば、諸君が一團となり一致協力して、

化事業社會事業等に對して、餘裕の一端を致すのが最善の方法と思ふ。假りに本縣に於て。一年一名が百圓づつを醸出するすれば二萬圓の資金が出来るのである。而して諸君の地位と信用とを以て、率先當の成績を擧げ得る事は申す迄もないのである。かくてかうした協同事業をやつて居る内に、自然同資格者中に

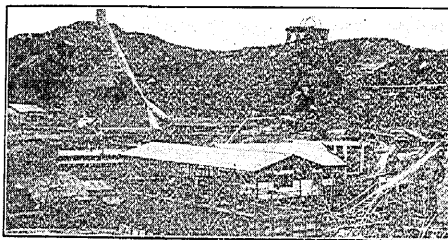
望力量ある人材を見出す事が出来、買収賣込等の醜態違法等を演ずる事なく、眞の代表者を互選する事が出来やうと思ふ。敢て道學者流の口吻を借るのではないが、  
善の家に餘慶ありである。諸君の仲間の多くは、積不善なるが故に除殃あつて、没落失格移動等が夥しく、其因果が靦面なる事を思ふ時に、大に反省も、大に鑑むべきでもある

（一面よりつづく）  
先對しては勿論、當年の一般民衆の子孫たる現代の人々に對して大に感謝して、報恩反始の舉に出づるの當然であり義務であると思ふ。然らば其方法は何。之を簡明直截に云へば、諸君が一團となり一致協力して、  
化事業社會事業等に對して、餘裕の一端を致すのが最善の方法と思ふ。假りに本縣に於て。一年一名が百圓づつを醸出するすれば二萬圓の資金が出来るのである。而して諸君の地位と信用とを以て、率先當の成績を擧げ得る事は申す迄もないのである。かくてかうした協同事業をやつて居る内に、自然同資格者中に

### 常磐唯一の撰炭装置

警炭綴坑では、勞力の合理化と、能率増進とを計る爲に、ローリースタクリン式撰炭機、セミバーム型水撰機を据付中であつたが、此程完成したので運轉を開始した。この装置は廻轉式であるが故に、粉炭を出す事もなく、振動式の一ヶ月

一萬八千噸な  
對し、  
二萬噸の  
五千噸の  
噸の  
能力  
を有  
し、  
且人  
力を  
節する事多大なるものにて  
本邦にては九州の一、二炭礦  
が使用して居るのみである  
この事である。



置裝炭撰の坑綴

一〇〇米、記録十一秒五、一等瀧口二等中井川三等白石四等西丸投、記録十二米六、一等西丸投、記録一六米六五、一等高商二等高商全二等高商四等武内四〇〇米、記録五四秒、一等大谷二等高商本二等高商高商  
走中跳、記録六米二、一等二等高商三等金成四等中井川  
二〇〇米、記録二四秒八、一等坂本二等高商口三等宇野四等高商三段跳、記録二七米九四、一等金成二等三等高商四等中井川  
圓盤投、記録二七米三八、一等高商二等高商四等中井川  
一五〇〇米、記録四分三六秒、一等小貫二等高商清三等高商海林四等高商  
四〇〇米、記録四七秒八、一等盤炭二等高商  
得點、盤炭五八點五、高商三四點五、以上氏名記入は盤炭選手、高商は高商選手を示す。

### 天人會

第六回天人會は去る二十九日午後五時から高坂集會所に於て開催、佐藤校長の遺傳と進化及び大内民恵の北海道視察談あり。降壇後も座談會に花が咲き十時解散した。次回當番辯士は猪狩喜平次齊藤第一校長に抽籤決定した。  
木の葉散る 子規  
奥は日和の天王寺

### 火防デー

十一月五日は火防デーに當るを以て、本村では各方面に於て種々の運動と宣傳とが行はれた。正午には高坂病院を模擬火災とし警鐘を合圖に金坂私設火防隊出動、大友佐藤中野蒲生坂本白田の幹部先頭に立つて消火に當り、病院側では會田院長を筆



災火擬模の院病坂高

指揮に當り、看護婦其他は總掛りて假裝入院患者を避難せしめ、諸機械諸道具の非常持出を行ひ、實に上を下への大活劇を演じたが、零時半には終演した。  
會社側では更に一時から各班各機械置場に集合し諸機械の檢閲を行つた。  
第三小學校では同日午前中庭庭長蛇をなして火防宣傳の旗行を行つたが、翌

六日は午後六時から警炭主催で火災豫防に關する活動映寫が金坂グラウンドにて舉行せられた。

### 縣選手權獲得

去月三十日福島師範グラウンドに於て行はれたる、縣選手權大會に出場せる吾が内郷選手（警炭選手）は左記如く數々の新記録を出し悠々歸村した。  
中井川、瀧口兩君、一〇〇米豫選十一秒五、一番宇野君同豫選二番  
坂本君二〇〇米豫選一番大谷君、四〇〇米決勝五十四秒、大會新記録  
金成君、三段跳決勝十三米七五、大會及縣新記録  
山田君、五〇〇米決勝三番  
中井川君、一〇〇米決勝十一秒六、新記録 一番坂本君、二〇〇米決勝棄權、瀧口君一〇〇米棄權、中井川瀧口坂本大谷、豫選一分三五秒、大會決勝一分三五秒九、大會及縣新記録。  
かくて優勝旗は我選手の獲得する處となつたのである

### 卷幡光子女史

其後七年會にあつて、三遺児養育の傍ら涙ぐまじき奮闘中であつた同女史は、此度見事産婆試験に合格したので、尙研究を積み、追つて獨立する事になつた。

我が國教育の權威  
京大教授小西直博士  
心を寄せて日く、多年の御體験下實地ノ御試験ニ基テ直學愛國ノ大精神ヲ拜味任シ、不思議激ニ打テラ申候云々。

### 全員一致 村長の改選行はる

矢野 恒太 大内民恵 著  
服部宇之吉  
教育制度改革概論  
(四六版二二頁 定價五十錢 郵税六錢)

行き詰れる現代の教育制度を解體して、學理と實際と、歴史と實驗とから新に大内案九主義を提唱す。天下知名の士の賛同校學に違あらず。されど未だ一人の抗議者も現れず。

三十日午前七時半から秋季大運動會を舉行。公休日且朝かなる日和に恵まれ、數千の觀衆あり、競技種目八

四週總會を開き、十一時半より下山し高野入の湯に到り、入浴逍遙、中食をなし、二時半入の湯出發午後

到來を鶴首期待して居る。  
隅田卓夫氏  
盤炭販賣課首席たる同氏

發行所 日本評論社  
東京九ノ内昭和ビル  
取次所 内郷村報社

あつて、没落失格移動等が夥しく、其因果が靦面なる事を思ふ時に、大に反省もし、大に鑑むべきでもある

### 矢野 恒太序 大内民惠著 教育制度改革概論

行き詰れる現代の教育制度を解體して、學理と實際と、歴史と實驗とから新に大内案九主義を提唱す。天下知名の士の賛同校學に違あらず。まれば未だ一人の抗議者も現はれず。

我國教育の權威 京大教授小西直博士 書を寄せて曰く、多年の御體験と實地御試練と基く眞摯愛國の精神と拜味仕り不思議感激打たれ申候云々。

發行所 日本評論社 東京丸の内昭和ビル 取次所 内郷村報社

午後一時から磐城金坂クラウンに於て舉行、公休且晴天の事とて觀衆四千、左記の如く吾が邦が大勝利

木葉散る 子規 奥は日和の天王寺 籤決定した。 狩喜平次齊藤第一校長に抽籤決定した。

第三小學校では同日午前中、中庭に長蛇をなして火防宣傳の進行列を行つたが、翌

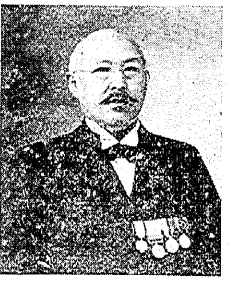
奮闘中であつた同女史は、此度見事産婆試験に合格したので、尙研究を積み、追つて獨立する事になつた。

## 全 員 一 致 村長の改選行はる

村議を振出しに収入役助役を勤め、擧げられて村長たる事、一期と一年半、温厚篤實無欲恬淡、一意村治に盡瘁して、一般村民の信望深か、つた野木龜之助氏は、去る六月凱旋兵歡迎會席上、突然腦溢血にて卒倒以來、自宅にて療養中の處經過頗る良好なるも、尙静養を要するとして、去月二十五日辭表を提出したので十一月二日の村會にて後任の選舉が行はれた。最初金澤助役推舉者と、村議沼田濱之助氏推薦者との兩派に別れたのであつたが、金澤氏が先輩たる沼田氏に譲歩



長村新田沼



長村前木野

し、協力して村治に盡したといふ雅量を示したのでこゝに兩氏の堅き握手が行はれ、滿場一致を以て沼田氏が當選する事になつた。同氏は本村出身で明治三十八年士官學校騎兵科卒業、

に入り、從五位勳四等功五級の位勳を有し、直情徑行の一面には、春風駘蕩たる人間味もあり、優に大村に長たる貫祿と力量とを備へそれに敏腕にして事務に精通せる金澤助役を配したる陣立は頗る見事といふべく大に村議諸君の勞をも多とするものである。尙菅波佐藤金澤三氏發起の下に、來る十八日内郷館に於て祝賀會を開催する事になつた。

### 磐城青年團綱領

- 一、我等は純眞なる青年の友情と愛郷の精神によりて團結す。
- 二、我等は若し心身を修練し勤勞を樂み自主創造の人たるを期す。
- 三、我等は希望に燃ゆる清新の意氣を以て愛と正義の爲に奮闘す。
- 四、我等は國家を愛す忠孝の本義を体し獻身報國公運の進展につく。
- 五、我等の心は廣し人道の大義に則り世界の平和と人類の共榮に努む。

磐城青年會では去る十三日午前八時から小島會長石橋務務田中兩務務等の引率の下に、總員百五十名が湯の嶽登山を試みた。十時半頂上着休後、開會者君ケ代合唱令旨奉讀會務報告名譽會長の挨拶(濱崎氏缺)小島會長の訓示協賛事項三陸下萬閉會の順序で合同第

### 阿部吾市氏

お馴染の同重役は、先般來健康を害し、静養中であつたが、大に快復せられたので、花鳥畫の稽古をはじめられたとあつて、作品二葉を寄せられた。其見事なる出来ばえには驚くの外なく、黒人の域に達せるものであつた。其厚意を感謝すると共に、再び活躍の時期

### 隅田卓夫氏

磐城販賣課首席たる同氏は、青沼鋒太郎氏夫妻の媒酌にて、吉田禮次郎氏六女にして家政學院專門科出身の才媛たる八重子嬢と婚約成り、十一月五日學式、住吉屋本店に於て、嚴肅盛大なる披露宴を張つた。

### 短 歌

小山田滋氏選 内郷 大竹 秋平 嵩高くまひ上りてはゆらく、こ小春日和の畫のさげさ 谷口 四郎 大空へたゞ一すぢに上り行く 炭山の煙をうち仰ぎけり 同 大高 政美 蒙々まきり立ちこむる御嶽のしづけさ破り百舌鳥の高鳴く 同 鈴木 通博 久々に友をたづねて降る雨の音をき、つ、しみみ、語る 同 田中 賢介 廢坑の名残りは昨日今日なるに 荒地野菊の生えしげり居り 俳 句 李笛吟社 十薬を引き溜めながら湯治かな 減つてゆく時炭の山や炭坑の秋 松落葉きれいに束ねありけり 稻扱いて居る漁師町通りけり 高萩 六王 樽田にさり暖されし案山子かな 稻の中遊ぐが如く蝗さり 高木 撫山 芋かごに菊のうつりが残りけり 木枯や何におごろく馬の鞍 郡山 藤田 藤倉

秋の 大竹 秋平 嵩高くまひ上りてはゆらく、こ小春日和の畫のさげさ 谷口 四郎 大空へたゞ一すぢに上り行く 炭山の煙をうち仰ぎけり 同 大高 政美 蒙々まきり立ちこむる御嶽のしづけさ破り百舌鳥の高鳴く 同 鈴木 通博 久々に友をたづねて降る雨の音をき、つ、しみみ、語る 同 田中 賢介 廢坑の名残りは昨日今日なるに 荒地野菊の生えしげり居り 俳 句 李笛吟社 十薬を引き溜めながら湯治かな 減つてゆく時炭の山や炭坑の秋 松落葉きれいに束ねありけり 稻扱いて居る漁師町通りけり 高萩 六王 樽田にさり暖されし案山子かな 稻の中遊ぐが如く蝗さり 高木 撫山 芋かごに菊のうつりが残りけり 木枯や何におごろく馬の鞍 郡山 藤田 藤倉

